

全経簿記 2 級(商業) 試験対策レジュメ

～第 2 問・3 問・4 問・5 問対策～



弥生カレッジ CMC

[問 題]

第2問 次の資料によって、期末売掛金、当期純利益、期末純資産(資本)、売上総利益の金額を求めなさい。(12点)

1.資産・負債	期首	期末	2.期間中の商品売買取引
現金預金	802,000	886,000	①当期総仕入高 4,950,000
売掛金	1,252,000	X	②当期仕入返品高 58,000
商品	1,999,000	1,810,000	③当期総売上高 6,214,000
買掛金	1,032,000	900,000	④当期売上返品高 69,000
3.純売上高を除く期間中の収益総額	233,000		
4.売上原高を除く期間中の費用総額	958,000		
5.期間中の剰余金の現金配当額	375,000		
6.期間中の新株発行による払込額	151,000		

期末売掛金	当期純利益	期末純資産(資本)	売上総利益

[解 答]

第2問 次の資料によって、期末売掛金、当期純利益、期末純資産(資本)、売上総利益の金額を求めなさい。(12点)

1.資産・負債	期首	期末	2.期間中の商品売買取引
現金預金	802,000	886,000	①当期総仕入高 4,950,000
売掛金	1,252,000	1,340,000	②当期仕入返品高 58,000
商品	1,999,000	1,810,000	③当期総売上高 6,214,000
買掛金	1,032,000	900,000	④当期売上返品高 69,000
3.純売上高を除く期間中の収益総額	233,000		
4.売上原高を除く期間中の費用総額	958,000		
5.期間中の剰余金の現金配当額	375,000		
6.期間中の新株発行による払込額	151,000		

期末売掛金	当期純利益	期末純資産(資本)	売上総利益
1,340,000	339,000	3,136,000	1,064,000



B/SとP/Lを実際に書くことで、問題の内容も整理ができますね。
あとは、書いた内容と解答要求の場所がどこのことなのかもわかるように、確認しておきましょうね。

第2問類題(Tパターン)

[問題・答案]

第2問 株式会社である当社の次の期首・期末の貸借対照表と元帳の記録により、期首資本金、期末繰越利益剰余金、当期純利益および売上総利益の金額を求めなさい。()の中に入る語句と金額は各自で考えること。(12点)

期首貸借対照表

現金	220,000	買掛金	348,000
売掛金	385,000	借入金	470,000
商品(繰越商品)	()	資本金	()
建物	430,000	利益準備金	170,000
土地	800,000	繰越利益剰余金	()
計	2,148,000	計	2,148,000

期末貸借対照表

現金	274,000	買掛金	250,000
売掛金	()	借入金	330,000
商品(繰越商品)	306,000	資本金	()
建物	420,000	利益準備金	()
土地	800,000	繰越利益剰余金	()
計	()	計	()

仕入

期中総額	3,667,000	仕入戻し	161,000
繰越商品	()	繰越商品	()
		損益	()
計	3,980,000	計	3,980,000

売上

売上戻り	99,000	期中総額	4,749,000
損益	()		
計	4,749,000	計	4,749,000

損益

仕入	()	売上	()
その他費用	1,153,000	その他収益	165,000
()	()		
計	4,815,000	計	4,815,000

資本金

次期繰越	()	前期繰越	()
		増資	250,000
計	1,250,000	計	1,250,000

繰越利益剰余金

配当・処分	90,000	前期繰越	160,000
次期繰越	()	()	()
計	309,000	計	309,000

利益準備金

次期繰越	()	前期繰越	()
		繰越利益剰余金	15,000
計	()	計	()

期首資本金	期末繰越利益剰余金	当期純利益	売上総利益
¥	¥	¥	¥

ポイント

- * 貸借合計が一致しているところを見つけよう！差額で出るなら、計算しよう！
- * 期首B/S…前期繰越 期末B/S…次期繰越
- * 勘定口座と相手科目に注目しよう！

第2問類題(Tパターン)

[解 答]

第2問 株式会社である当社の次の期首・期末の貸借対照表と元帳の記録により、期首資本金、期末繰越利益剰余金、当期純利益および売上総利益の金額を求めなさい。()の中に入る語句と金額は各自で考えること。(12点)

期首貸借対照表

現金	220,000	買掛金	348,000
売掛金	385,000	借入金	470,000
商品(繰越商品)	(313,000)	資本金	(1,000,000)
建物	430,000	利益準備金	170,000
土地	800,000	繰越利益剰余金	(160,000)
計	2,148,000	計	2,148,000

期末貸借対照表

現金	274,000	買掛金	250,000
売掛金	(434,000)	借入金	330,000
商品(繰越商品)	306,000	資本金	(1,250,000)
建物	420,000	利益準備金	(185,000)
土地	800,000	繰越利益剰余金	(219,000)
計	(2,234,000)	計	(2,234,000)

仕 入

期中総額	3,667,000	仕入戻し	161,000
繰越商品	(313,000)	繰越商品	(306,000)
		損 益	(3,513,000)
計	3,980,000	計	3,980,000

売 上

売上戻り	99,000	期中総額	4,749,000
損 益	(4,650,000)		0
計	4,749,000	計	4,749,000

損 益

仕 入	(3,513,000)	売 上	(4,650,000)
その他費用	1,153,000	その他収益	165,000
(繰越利益剰余金)	(149,000)		0
計	4,815,000	計	4,815,000

資 本 金

次期繰越	(1,250,000)	前期繰越	(1,000,000)
		増 資	250,000
計	1,250,000	計	1,250,000

繰越利益剰余金

配当・処分	90,000	前期繰越	160,000
次期繰越	(219,000)	(損 益)	(149,000)
計	309,000	計	309,000

利益準備金

次期繰越	(185,000)	前期繰越	(170,000)
		繰越利益剰余金	15,000
計	(185,000)	計	(185,000)

期首資本金	期末繰越利益剰余金	当期純利益	売上総利益
¥ 1,000,000	¥ 219,000	¥ 149,000	¥ 1,137,000

第3問類題 【問題】

当店では仕入帳と売上帳を補助簿として用いており、4月中の記入は以下のとおりである。この内容にもとづいて、下記の問いに答えなさい。なお、4月1日の各商品の前月繰越高は下記の通りである。

X商品の前月繰越高15個 × @ ¥1,200 = ¥18,000

Y商品の前月繰越高120個 × @ ¥560 = ¥67,200

(注)仕入帳と売上帳の太字の記入は、赤字記入を意味している。

【問1】Y商品の4月30日の次月繰越高と4月分の粗利益を求めなさい。なお、Y商品の払出単価の計算には、移動平均法を採用している。

【問2】4月4日から27日までの取引について、示された勘定口座に記入(日付けと金額のみでよい)しなさい。

仕 入 帳

平成×1年		摘要		内訳	金額
4	4	山口商店	掛け		
		X商品	35個 @ ¥1,250	43,750	
		Y商品	280個 // // ¥700	196,000	239,750
	13	福岡商店	小切手		
		X商品	30個 @ ¥1,400		42,000
	18	岡山商店	掛け		
		Y商品	300個 @ ¥650		195,000
	24	岡山商店	掛け返品		
		Y商品	30個 @ ¥650		19,500

売 上 帳

平成×1年		摘要		内訳	金額
4	11	香川商店	掛け		
		X商品	40個 @ ¥2,100	84,000	
		Y商品	300個 // // 900	270,000	354,000
	23	伊豆商店	掛け		
		Y商品	350個 @ ¥900		315,000
	25	仙台商店	小切手		
		X商品	36個 @ ¥2,100		75,600
	27	伊豆商店	掛け返品		
		Y商品	40個 @ ¥900		36,000

第3問類題 【答案】

商 品 有 高 帳 Y 商 品

平成X1年	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
4	1 前月繰越	120	560	67,200				120	560	67,200
	30 次月繰越									

注: 摘要欄には、取引先を記入すること。

【問1】

Y商品の次月繰越高
¥

Y商品の粗利益
¥

【問2】

総 勘 定 元 帳

買 掛 金	
4/1 前月繰越 120,000	
仕 入	
売 上	

仕 入 先 元 帳

岡 山 商 店	
4/1 前月繰越 215,000	

得 意 先 元 帳

伊 豆 商 店	
4/1 前月繰越 215,000	

第3問類題 【解答】

● @2点 × 10 = 20点

商品有高帳
Y商品

平成X1年	摘要	受入			払出			残高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
4	1 前月繰越	120	560	67,200				120	560	67,200
	4 山口商店	280	700	196,000				400	658	263,200
	11 香川商店				300	658	197,400	● 100	658	65,800
	18 岡山商店	300	650	195,000				400	652	260,800
	23 伊豆商店				350	652	228,200	50	652	32,600
	24 岡山商店				● 30	650	19,500	20	655	13,100
	27 伊豆商店	● 40	652	26,080				● 60	653	39,180
	30 次月繰越				60	653	39,180			
		740		484,280	740		484,280			
5	1	60	653	39,180				60	653	39,180

注:摘要欄には、取引先を記入すること。

【問1】

Y商品の次月繰越高	
¥ ●	<input type="text" value="39,180"/>

Y商品の粗利益	
¥ ●	<input type="text" value="149,480"/>

【問2】

総勘定元帳

仕入先元帳

買掛金

岡山商店

4/24	19,500	4/1 前月繰越	120,000
		4	239,750 ●
		18	195,000

4/24	19,500	4/1 前月繰越	215,000
		18	195,000

得意先元帳

売掛金

伊豆商店

4/1 前月繰越	326,000	4/27	36,000
● 11	354,000		
23	315,000		

4/1 前月繰越	215,000	4/27	36,000
● 23	315,000		
			※両方正解で2点

仕入

4/4	239,750	4/24	19,500
13	42,000		
18	195,000		

売上

4/27	36,000	4/11	354,000
		23	315,000 ●
		25	75,600

第4問類題【問題・答案】(三伝票制・集計表・元帳)

第4問 7月20日中の次の取引を略式伝票(三伝票制)に記入して、仕訳集計表を作成するとともに、示された総勘定元帳および仕入先元帳へ転記(日付と金額のみでよい。)しなさい。空白の勘定科目名は各自考えて埋めること。なお、仕訳集計表の作成に際しては、総勘定元帳へ転記したことを示す元丁欄の記入も行うこと。

(16点)

7月20日青森商店に商品¥85,000を販売し、代金は青森商店振出しの小切手で受け取った。

- ” 大阪商店から商品¥73,000を仕入れ、先に支払っていた内金¥13,000を差し引いたうえ、残額は、掛けとした。なお、いったん全額¥73,000を掛け取引としてみなして起票している。また、この商品の引取運賃¥7,000は現金で支払った。
- ” CMC銀行の当座預金口座から、現金¥220,000を引き出した。
- ” 先日、兵庫商店から掛けで仕入れていた商品の一部に注文間違いがあったため、¥20,000分の商品を返品し、代金は買掛金から差し引くこととした。

第4問(16点)

<u>入金伝票</u>				<u>入金伝票</u>			
科	目	金	額	科	目	金	額
()	()	()	()	()	()	()	()

<u>出金伝票</u>			
科	目	金	額
()	()	()	()

<u>振替伝票(借方)</u>				<u>振替伝票(貸方)</u>			
科	目	金	額	科	目	金	額
()	()	()	()	()	()	()	()

<u>振替伝票(借方)</u>				<u>振替伝票(貸方)</u>			
科	目	金	額	科	目	金	額
()	()	()	()	()	()	()	()

<u>振替伝票(借方)</u>				<u>振替伝票(貸方)</u>			
科	目	金	額	科	目	金	額
()	()	()	()	()	()	()	()

(注) 買掛金には商店名も記入する。

第4問類題【答案】

仕 訳 集 計 表

平成X1年7月20日

借方	元丁	勘定科目	元丁	貸方
		現金		
		当座預金	2	
		()	9	
	12	買掛金	12	
		売上	26	
		仕入		

総勘定元帳

現金	<1>
※820,000	
仕入	<30>
※1,000,000	

仕入先元帳

大阪商店	<11>
	※360,000
兵庫商店	<18>
	※170,000

(注)総勘定元帳および補助元帳の丁数欄は省略している。また、日付も記入していない。

※7/19までの残高である。

第4問類題【解答】

● @2点×8=16点

<p><u>入金伝票</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">科 目</td> <td style="width: 20%;">金 額</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>(売 上)</td> <td>(</td> <td>85,000)</td> </tr> </table>	科 目	金 額		(売 上)	(85,000)	<p><u>入金伝票</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">科 目</td> <td style="width: 20%;">金 額</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>(当 座 預 金)</td> <td>(</td> <td>220,000)</td> </tr> </table>	科 目	金 額		(当 座 預 金)	(220,000)
科 目	金 額												
(売 上)	(85,000)											
科 目	金 額												
(当 座 預 金)	(220,000)											
<p><u>出金伝票</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">科 目</td> <td style="width: 20%;">金 額</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>(仕 入)</td> <td>(</td> <td>7,000)</td> </tr> </table>	科 目	金 額		(仕 入)	(7,000)							
科 目	金 額												
(仕 入)	(7,000)											
<p><u>振替伝票(借方)</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">科 目</td> <td style="width: 20%;">金 額</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>(仕 入)</td> <td>(</td> <td>73,000)</td> </tr> </table>	科 目	金 額		(仕 入)	(73,000)	<p><u>振替伝票(貸方)</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">科 目</td> <td style="width: 20%;">金 額</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>(買掛金/大阪商店)</td> <td>(</td> <td>73,000)</td> </tr> </table>	科 目	金 額		(買掛金/大阪商店)	(73,000)
科 目	金 額												
(仕 入)	(73,000)											
科 目	金 額												
(買掛金/大阪商店)	(73,000)											
<p><u>振替伝票(借方)</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">科 目</td> <td style="width: 20%;">金 額</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>(買掛金/大阪商店)</td> <td>(</td> <td>13,000)</td> </tr> </table>	科 目	金 額		(買掛金/大阪商店)	(13,000)	<p><u>振替伝票(貸方)</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">科 目</td> <td style="width: 20%;">金 額</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>(前 払 金)</td> <td>(</td> <td>13,000)</td> </tr> </table>	科 目	金 額		(前 払 金)	(13,000)
科 目	金 額												
(買掛金/大阪商店)	(13,000)											
科 目	金 額												
(前 払 金)	(13,000)											
<p><u>振替伝票(借方)</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">科 目</td> <td style="width: 20%;">金 額</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>(買掛金/兵庫商店)</td> <td>(</td> <td>20,000)</td> </tr> </table>	科 目	金 額		(買掛金/兵庫商店)	(20,000)	<p><u>振替伝票(貸方)</u></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">科 目</td> <td style="width: 20%;">金 額</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>(仕 入)</td> <td>(</td> <td>20,000)</td> </tr> </table>	科 目	金 額		(仕 入)	(20,000)
科 目	金 額												
(買掛金/兵庫商店)	(20,000)											
科 目	金 額												
(仕 入)	(20,000)											

(注) 買掛金には商店名も記入する。

仕 訳 集 計 表

平成X1年7月20日

借 方	元丁	勘 定 科 目	元丁	貸 方
● 305,000	1	現 金	1	7,000
		当 座 預 金	2	220,000
		(前 払 金)	9	13,000
33,000	12	買 掛 金	12	73,000
		売 上	26	85,000
80,000	30	仕 入	30	20,000
● 418,000				418,000

総勘定元帳

現 金 <1>		
※820,000	7/20	7,000
7/20 305,000		
仕 入 <30>		
※1,000,000	7/20	20,000
7/20 ● 80,000		

仕入先元帳

大阪商店 <11>		
7/20 13,000		※360,000
	7/20	● 73,000
兵庫商店 <18>		
7/20 20,000		※170,000

第5問類題【問題】精算表

第5問 次の付記事項と決算整理事項によって、精算表を作成しなさい。なお、会計期間は、1月1日から12月31日までの1年間である。

付記事項

仮受金 ¥144,000は、先日、商品注文の際に受けとった内金であることが判明した。

決算整理事項

1. 期末商品棚卸高 ¥2,420,000
2. 売掛金の期末残高について4%の貸倒れを見積もる。差額補充法により処理する。
3. 備品について、定額法により減価償却を行う。
 残存価額 ゼロ 耐用年数 8年
4. 売買目的で所有している有価証券を時価 ¥312,000に評価替えをする。
5. 消耗品未使用高 ¥20,000
6. 家賃の前払高 ¥155,000
7. 地代の前受高 ¥100,000
8. 給料の未払高 ¥80,000
9. 未払法人税等
 当期の課税所得を計算したところ、¥1,000,000となったので、未払分を計上する。
 なお、税率は40%であり中間申告時に¥162,000をすでに納付している。

第5問類題【答案】 精算表

第 5 問 (30 点)

精 算 表

勘 定 科 目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金	550,000							
当 座 預 金	1,184,000							
売 掛 金	1,200,000							
貸 倒 引 当 金		12,000						
売買目的有価証券	300,000							
繰 越 商 品	2,736,000							
消 耗 品	120,000							
仮 払 法 人 税 等	162,000							
備 品	2,880,000							
備品減価償却累計額		960,000						
土 地	3,400,000							
買 掛 金		780,000						
仮 受 金		144,000						
資 本 金		7,200,000						
資 本 準 備 金		1,200,000						
利 益 準 備 金		480,000						
繰越利益剰余金		288,000						
売 上		13,903,000						
受 取 地 代		1,300,000						
仕 入	9,420,000							
給 料	2,028,000							
支 払 家 賃	2,015,000							
水 道 光 熱 費	272,000							
	26,267,000	26,267,000						
()								
貸倒引当金()								
減 価 償 却 費								
有価証券運用()								
消 耗 品 費								
() 家 賃								
() 地 代								
() 給 料								
法 人 税 等								
() 法 人 税 等								
当期純()								

第5問類題【解答】 精算表

印2点 × 15 = 30点

第 5 問 (30 点)

精 算 表

勘 定 科 目	残高試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現 金	550,000						550,000	
当 座 預 金	1,184,000						1,184,000	
売 掛 金	1,200,000						1,200,000	
貸 倒 引 当 金		12,000		●36,000				48,000
売買目的有価証券	300,000		12,000				312,000	
繰 越 商 品	2,736,000		2,420,000	2,736,000			2,420,000	
消 耗 品	120,000			100,000			●20,000	
仮 払 法 人 税 等	162,000			162,000				
備 品	2,880,000						2,880,000	
備品減価償却累計額		960,000		360,000				●1,320,000
土 地	3,400,000						3,400,000	
買 掛 金		780,000						780,000
仮 受 金		144,000	144,000					
資 本 金		7,200,000						7,200,000
資 本 準 備 金		1,200,000						1,200,000
利 益 準 備 金		480,000						480,000
繰越利益剰余金		288,000						288,000
売 上		13,903,000				13,903,000		
受 取 地 代		1,300,000	100,000			●1,200,000		
仕 入	9,420,000		●2,736,000	2,420,000	9,736,000			
給 料	2,028,000		80,000		2,108,000			
支 払 家 賃	2,015,000			●155,000	1,860,000			
水 道 光 熱 費	272,000				272,000			
	26,267,000	26,267,000						
(前 受 金)				144,000				144,000
●貸倒引当金(繰入)			36,000		36,000			
●減価償却費			●360,000		360,000			
●有価証券運用(益)				12,000		12,000		
●消耗品費			100,000		100,000			
●(前払)家賃			155,000				155,000	
●(前受)地代				100,000				100,000
●(未払)給料				80,000				80,000
●法人税等			400,000		400,000			
●(未払)法人税等				238,000				238,000
●当期純(利益)					243,000			243,000
			6,543,000	6,543,000	15,115,000	15,115,000	12,121,000	12,121,000

第5問類題【問題】 貸借対照表

第5問

株式会社奈良商店(会計期間は平成×1年4月1日から平成×2年3月31日まで)の決算整理前残高試算表と決算整理事項は、次のとおりであった。本支店合併の貸借対照表を作成しなさい。また、本支店合併後の売上総利益と受取手数料および支払家賃の金額を求めなさい。(30点)

残高試算表

(単位:円)

借方	本店	支店	貸方	本店	支店
現金	334,800	123,200	支払手形	219,200	248,800
当座預金	698,400	102,000	買掛金	484,400	489,600
売掛金	1,128,000	752,000	借入金	1,112,000	952,000
売買目的有価証券	384,000		貸倒引当金	16,800	11,200
繰越商品	1,392,000	928,000	備品減価償却累計額	200,000	100,000
備品	900,000	600,000	本店		290,000
支店	290,000		資本金	2,000,000	
仕入	4,717,200	3,144,800	資本準備金	200,000	
給料	1,476,000	920,000	利益準備金	200,000	
支払家賃	1,274,000	856,000	繰越利益剰余金	160,400	
保険料	504,000	336,000	売上	9,423,600	6,282,400
広告費	636,000	424,000	受取手数料	143,400	95,600
消耗品費	425,400	283,600	雑収入	40,800	27,200
支払利息	40,800	27,200			
	14,200,600	8,496,800		14,200,600	8,496,800

決算整理事項

1. 期末商品棚卸高 本店の帳簿棚卸高 ¥1,548,000 実施棚卸高 ¥1,448,000
支店の帳簿棚卸高 ¥1,032,000 実施棚卸高 ¥992,000

なお、帳簿棚卸高と実地棚卸高の差額は、棚卸減耗費と商品評価損である、それらの全額を売上原価に算入する。

2. 売掛金の期末残高について5%の貸倒れを見積もる。差額補充法により処理する。
3. 売買目的で保有している有価証券の期末時価は、 ¥370,000である。
4. 備品について、本支店ともに定額法により減価償却を行う。 残存価額 ゼロ・耐用年数 5年
5. 消耗品の未使用高 本店 ¥57,000 支店 ¥20,000
6. 家賃の前払高 本店 ¥53,000 支店 ¥37,000
7. 利息の未払高 本店 ¥27,000 支店 ¥23,000
8. 手数料の前受高 本店 ¥23,000 支店 ¥20,000

第5問類題【答案】 貸借対照表

第5問 (30点)

貸借対照表

株式会社奈良商店

平成×2年3月31日

(単位:円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
売 掛 金()		借 入 金	
貸倒引当金()		()	
売買目的有価証券		()	
商 品		資 本 金	
()		資 本 準 備 金	
()		利 益 準 備 金	
備 品()		()	
減価償却累計額()			

本支店合併後の売上総利益	¥
本支店合併後の受取手数料	¥
本支店合併後の支払家賃	¥

第5問類題【解答】 貸借対照表

第5問 (30点)

印@3点×10=30点

貸借対照表

株式会社奈良商店

平成×2年3月31日

(単位:円)

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金	458,000	支 払 手 形	468,000
当 座 預 金	800,400	買 掛 金	974,000
売 掛 金(1,880,000)		借 入 金	2,064,000
貸倒引当金(94,000)	● 1,786,000	(未 払 利 息)	50,000 ●
売買目的有価証券	370,000	(前 受 手 数 料)	43,000 ●
商 品	● 2,440,000	資 本 金	2,000,000
順 ● 下 ● 消 耗 品)	77,000	資 本 準 備 金	200,000
不 ● 問 ● 前 払 家 賃)	90,000	利 益 準 備 金	200,000
備 品(1,500,000)		(繰越利益剰余金)	922,400 ●
減価償却累計額(600,000)	900,000		
	6,921,400		6,921,400

注意:前払家賃は前払費用、未払利息は未払費用、前受手数料は前受収益でもよい。

本支店合併後の売上総利益	¥	● 7,964,000
本支店合併後の受取手数料	¥	● 196,000
本支店合併後の支払家賃	¥	● 2,040,000

第5問類題【問題】 損益計算書

第5問 株式会社京橋商事(会計期間は平成×1年4月1日から平成×2年3月31日まで)の決算整理前残高試算表と決算整理事項は、次のとおりであった。本支店合併の損益計算書を作成しなさい。また、本支店合併後の売買目的有価証券と商品(繰越商品)および繰越利益剰余金の金額を求めなさい。(30点)

残高試算表

(単位:円)

借方	本店	支店	貸方	本店	支店
現金	330,000	220,000	支払手形	553,300	296,700
当座預金	703,200	225,200	買掛金	507,400	392,600
売掛金	1,138,000	762,000	借入金	1,912,000	1,698,400
売買目的有価証券	640,000		貸倒引当金	16,300	10,700
繰越商品	1,402,000	938,000	備品減価償却累計額	300,000	200,000
備品	1,536,000	1,024,000	本店		283,600
支店	283,600		資本金	1,800,000	
仕入	4,727,200	3,154,800	資本準備金	110,000	
給料	1,488,000	992,000	利益準備金	110,000	
支払家賃	1,309,000	861,000	繰越利益剰余金	310,000	
保険料	516,000	344,000	売上	9,433,600	6,292,400
広告宣伝費	646,000	434,000	受取手数料	143,400	95,600
消耗品費	445,200	296,800			
支払利息	31,800	18,200			
	15,196,000	9,270,000		15,196,000	9,270,000

決算整理事項

1. 期末商品棚卸高 本店の帳簿棚卸高 ¥1,558,000 支店の帳簿棚卸高 ¥1,042,000
 なお、実地棚卸の結果、本支店合計で棚卸減耗費が ¥60,000、商品評価損が ¥120,000 と算定された。
 棚卸減耗費と商品評価損は、全額売上原価に算入し、売上原価の内訳科目とする。
2. 売掛金の期末残高について5%の貸倒れを見積もる。差額補充法により処理する。
3. 売買目的で保有している有価証券の期末時価は、 ¥710,000である。
4. 備品について、本支店ともに定額法により減価償却を行う。 残存価額 ゼロ・耐用年数 8年
5. 消耗品の未使用高 本店 ¥60,000 支店 ¥30,000
6. 家賃の前払高 本店 ¥66,000 支店 ¥44,000
7. 利息の未払高 本店 ¥37,000 支店 ¥33,000
8. 手数料の前受高 本店 ¥2,000 支店 ¥1,000

第5問類題【答案】 損益計算書

第5問 (30点)

損益計算書

株式会社京橋商事

平成×1年4月1日から平成×2年3月31日まで

費用	金額	収益	金額
()商品棚卸高		当期商品売上高	
当期商品純仕入高		()商品棚卸高	
棚卸減耗費			
商品評価損			
()			
給料		()	
支払家賃		受取手数料	
()		有価証券運用()	
()			
保険料			
広告費			
消耗品費			
支払利息			
()			

本支店合併後の売買目的有価証券	¥
本支店合併後の商品(繰越商品)	¥
本支店合併後の繰越利益剰余金	¥

第5問類題【解答】 損益計算書

第5問 (30点)

●印@2点×15=30点

損益計算書

株式会社京橋商事

平成×1年4月1日から平成×2年3月31日まで

順
不
問

費用	金額	収益	金額
(期首)商品棚卸高	2,340,000	当期商品売上高	15,726,000
当期商品純仕入高	7,882,000	●(期末)商品棚卸高	2,600,000
棚卸減耗費	●60,000		
商品評価損	120,000		
●(売上総利益)	7,924,000		
	18,326,000		18,326,000
給料	2,480,000	(売上総利益)	7,924,000
支払家賃	●2,060,000	受取手数料	●236,000
●(貸倒引当金繰入)	68,000	●有価証券運用(益)	70,000
●(減価償却費)	320,000		
保険料	●860,000		
広告費	1,080,000		
消耗品費	●652,000		
支払利息	●120,000		
●(当期純利益)	590,000		
	8,230,000		8,230,000

本支店合併後の売買目的有価証券	¥	●710,000
本支店合併後の商品(繰越商品)	¥	●2,420,000
本支店合併後の繰越利益剰余金	¥	●900,000